

Ⅱ 魅力ある学校づくりの推進

1. 幼・小・中学校の英語あそび、英語活動、外国語活動・外国語科の充実

(1) 概要

これからの国際社会で活躍する園児・児童・生徒に必要とされる英語による実践的コミュニケーション能力を育成するため、学びの連続性を確保する。ALT（外国語指導助手 以下 ALT と表記）を活用して幼稚園における英語あそび、小・中学校における英語活動、英語教育の充実を図る。

① 区立幼稚園 4・5 歳児を対象とした英語あそびの実施

各園に年間 3 回、2 学年あわせて 1.5 時間程度、ALT と担任による英語あそびを実施する。

② 区立小学校の児童を対象とした英語教育の充実（令和 6 年度）

各小学校の全学年・全クラスで、1 年生各クラス 8 時間、2 年生 12 時間、3・4 年生 25 時間、5・6 年生 45 時間、特別支援学級 10 時間を目途に ALT を活用し、コミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成する。

③ 区立中学校の生徒を対象とした英語教育の充実（令和 6 年度）

国際理解教育ならびに外国語教育の充実のため、1 年生 30 時間、2 年生 30 時間、3 年生 12 時間、特別支援学級 10 時間を目途に ALT を活用し、当該中学校教諭等と聞くこと、話すこと、を重点としてコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2. 「次世代文化の担い手」育成事業

(1) 概要

子どもたちが若手芸術家の指導の下、芸術活動を経験することにより、創造力や表現力、コミュニケーション能力の育成を図る。

(2) 実績と予定

□ 令和 5 年度派遣校 6 校（園）

実施校	実施学年等	教科・領域等	ジャンル
西巣鴨幼稚園	園児	環境・表現	美術
南長崎幼稚園	園児	表現	音楽
豊成小学校	3 年	体育・音楽	身体表現
池袋第一小学校	6 年	図工	図工
池袋第三小学校	特別支援学級	生活単元	身体表現
池袋小学校	5 年	図工	図工

□ 令和 6 年度派遣校 6 校（園）＜予定＞

実施校	実施学年等	教科・領域等	ジャンル
西巣鴨幼稚園	園児	表現	美術
南長崎幼稚園	園児	製作	美術
西巣鴨小学校	3 年	音楽	表現活動
池袋小学校	1～6 年	体育	身体表現
要小学校	3 年	総合的な学習の時間	演劇
椎名町小学校	6 年	音楽	表現活動

3. 地域資源を活用した学習

【学校周辺の豊かな地域資源を活用した学習（例）】

- (1) ソメイヨシノ発祥の地である駒込
- (2) 防災公園としての機能を持ち合わせた「IKE・SUNPARK」
- (3) マンガの聖地「トキワ荘マンガミュージアム」
- (4) 伝統芸能「長崎獅子舞」の伝承に取り組む長崎

4. 健康教育

(1) 概要

① 体力づくり

生涯にわたって運動やスポーツに親しむ意欲や能力の育成を図る。

② 健康に関する知識

自らの健康を維持・増進させようとする意識を高め、必要な知識を身に付ける。

5. 人権教育

(1) 概要

人権教育の目標は、一人一人の幼児・児童・生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることである。目標達成に向け、育てたい資質・能力を明らかにし、教育活動全体を通して人権教育を推進している。育てたい資質・能力は、三つの側面から捉えることができる。

① 知的側面

人権や人権擁護に関する基本的な知識を確実に学び、その内容や意義についての知的理解を徹底し、深化することが必要である。

② 価値的・態度的側面

人権がもつ価値や重要性を直感的に感受し、それを共感的に受け止めることができるような感性や感覚を育成するとともに、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度を育むことが必要である。

③ 技能的側面

自分と他者との人権擁護を実践しようとする意欲や態度を実際の行為に結び付ける実践力を育成しようとする必要がある。

これら三つの側面から、学校（園）が各教科等の指導において、育てたい資質・能力を明らかにして、組織的・計画的な指導を進める。

(2) 人権教育と「考え、議論する道徳」との連携

① 幼児期における道徳教育との連携

道徳性の芽生えを支え、小学校へとスムーズに接続する視点から、就学前の段階から接続を意識して指導する。

② 小・中学校における道徳教育

道徳的な問題を自分事として捉え、友達の意見や考えを基にしながら、自分の考えをさらに深められるよう指導する。

③ 教員の指導力向上

研修や指導教諭による授業公開等を生かし、「考え、議論する道徳」の授業力向上を図る。

6. SDGs 達成の担い手育成事業

(1) 目的

2030 年の SDGs 達成を見据えて、学校・保護者・地域・企業・大学などが協働で取組を推進し、大人と子どもが一緒に持続発展都市の担い手を目指す。

(2) 概要

各学校と保護者・地域・企業・大学などの協働による取組を通して、地球規模の目標を自分たちの課題ととらえ、行動に移し、オールとしまで、誰一人取り残さない豊島区の未来を考えていく。

各学校では、「外部人材や地域資源を活用した取組」・「自分ごと化を進めるための体験的な取組」・「教育環境を整備する取組」の 3 つを柱に、各学校が趣向を凝らして協働による取組を進めている。

(3) 実績

① 「SDGs フェスティバル」・「SDGs 学校チャレンジ週間（学校 SDGs ウィーク）」

子どもも大人も手を取りあって、一人一人が SDGs 達成の担い手として、「誰一人取り残さない」豊島区の未来をみんなで考え、行動に移していくきっかけとなるよう各学校の SDGs 達成に向けた取組を発信した。

□ 「SDGs フェスティバル」 会場：豊島区立芸術文化劇場（東京建物 Brillia HALL）

年度	開催日	出演校	来場者数
令和 3 年度	11 月 8 日（月）	西巢鴨小、池袋第三小、千早小、椎名町小、さくら小、仰高小、巢鴨北中、西巢鴨中、都立千早高	約 400 人
令和 4 年度	11 月 9 日（水）	朋有小、目白小、高松小、池一小、豊成小、千登世橋中、千川中	約 400 人
令和 5 年度	11 月 17 日（金）	駒込小、朝日小、高南小、長崎小、西池袋中、池袋幼稚園	約 540 人
令和 6 年度	11 月 22 日（金）	巢鴨小、清和小、池袋本町小、池袋小、南池袋小、要小、富士見台小、駒込中、池袋中、明豊中、西巢鴨幼稚園、南長崎幼稚園	—

□ 「SDGs 学校チャレンジ週間（学校 SDGs ウィーク）」

年度	日時	会場	来場者数
令和 3 年度	11 月 1 日（月）～11 月 14 日（日）	各学校	約 1,200 人
令和 4 年度	11 月 5 日（土）または 11 月 12 日（土）前後 5 日間		約 4,000 人
令和 5 年度	10 月～11 月にかけて「チャレンジデイズ」として実施予定		約 5,300 人
令和 6 年度（予定）	10 月～11 月にかけて「チャレンジデイズ」として実施予定		—

②「学校 SDGs 推進アドバイザー」「SDGs 環境教育アドバイザー」「SDGs 環境教育リーダー」

本事業にかかる取組について、専門知識や見識に基づく助言を受けるため、SDGs や校内のビオトープ等を拠点とした環境教育活動や学校と地域の協働活動に精通したアドバイザー等を派遣し、学校の活動を支援している。